

県央ブロックごみ処理施設整備予定地の選定に係る地域住民の意見等

1 住民説明会等の開催状況

整備候補地	年月日	実施内容	対象町内会	参加者
盛岡インターチェンジ付近	H29.7.7	住民説明会（1会場）	前潟自治会, 上厨川自治会	42名
	H29.10.17	住民説明会（1会場）		47名
	H30.11.16	懇談会（1会場）	土淵地区全6町内会	104名
	H31.1.20	懇談会（1会場）	（前潟自治会, 上厨川自治会, 土淵自治会, 谷地上自治会, 平賀振興会, 長橋町自治会）	89名
	H31.2.19, 21	秋田市総合環境センター 施設見学	土淵自治会, 谷地上自治会, 平賀振興会, 長橋町自治会	68名
	H31.3.20	住民説明会（1会場）	太田地区全11町内会	109名
	R1.5.26	懇談会（1会場）	土淵地区全6町内会	77名
	R1.7.29	仙台市松森工場施設見学		50名
	R1.9.14	武蔵野クリーンセンター・ 桜環境センター施設見学		13名
	R1.9.18	住民説明会（1会場）	太田地区全11町内会	74名
R1.9.21	シンポジウム	土淵地区全6町内会	70名	
R1.11.29	住民説明会（1会場）	太田地区全11町内会	55名	
盛岡南インターチェンジ付近	H29.7.19～21	住民説明会（3会場）	田中自治会, 上永井自治公民館,	84名
	H29.10.26	住民説明会（1会場）	下久根町内会, 下羽場町内会	38名
都南工業団地付近	H29.7.11	住民説明会（1会場）	堀越自治公民館	21名
	H29.10.13	住民説明会（1会場）		22名
	H30.7.20	住民説明会（1会場）	田の沢町内会, 沢目町内会	10名
	H30.8.28	住民説明会（1会場）	新山自治会	24名
	H30.12.19	住民説明会（1会場）	堀越自治公民館, 田の沢町内会, 沢目町内会	19名
	H30.12.20	住民説明会（1会場）	新山自治会	22名
	H31.1.19	住民説明会（1会場）	手代森ニュータウン町内会	62名
	H31.2.23	住民説明会（1会場）		58名
盛岡市クリーンセンター敷地	H29.7.24 ～8.9	住民説明会（5会場）	松園地区全13町内会, 上米内地 区全6町内会	218名

備考1 上記住民説明会等への参加者数は、延べ 1,376人

- 2 土淵地区での懇談会は、ごみ処理施設の整備を含む地域のまちづくりをテーマとする「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」として、盛岡市主催により開催

整備候補地	住民等からの要望, 意見, 質問等 (主なもの)	
盛岡インターチェンジ付近	意見, 質問等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害, 風評被害等もなく, 同じような施設であれば安心という気になった。 <仙台市松森工場施設見学会参加者の意見> ・ 熱利用施設を含め完成予想図を示して欲しい。その方が住民理解も進むと思う。 ・ ごみ処理施設建設とスポパーク松森のようなスポーツパークの整備を考えてほしい。 <武蔵野クリーンセンター等施設見学会参加者の意見> ・ 武蔵野の建設段階における市民一体化の発想は見習うべき。 ・ 大都会の中の施設を市民が有効活用し, 環境学習や, 憩い, 市民交流の場など新たな発想で取り組んでいることに感銘を受けた。 <シンポジウム参加者の意見> ・ 早急に「まちづくり検討委員会」でのプラン作りに取り組むべき。 ・ これほどいい施設になってきているのに, 反対の方が多いのは情報不足だと思う。 ・ エネルギー利活用よりも住民の安定・安全・安心が最優先だ。
		<p>【太田地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境, 交通渋滞の部分の説明は納得できない。 ・ 最初から盛岡インターチェンジ付近ありきで進めたのではないか。 ・ 火山灰の降灰, 水害の影響などが考慮されていないのではないか。 ・ 安全な施設なら, なぜクリーンセンター周辺住民が反対するのか。 ・ 浸水想定区域外であっても, 近年の豪雨災害などから, 状況は変わってきており, 危険性の再検討が必要ではないか。 ・ H29年10月に3者の連名で提出された要望書は, 前前潟自治会長分が取下げになったのだから, 要望の効力が消滅したのではないか。 ・ 盛岡市長選で, 広域化を見直すとした2候補の得票が, 現職の得票を上回った。このまま計画を進めるのは誠意がない。 ・ リサイクル率の向上に取り組んでから施設整備を行うべき。
		<p>【令和2年11月に各戸配布した事業説明冊子への意見, 質問等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域の総合的な発展に結びつくのならば, 施設整備に賛成する。</u> ・ <u>冊子はこれまでの説明と同じ内容。説明は十分だ。早く決めるべき。</u> ・ <u>他市町ではごみの分別が異なっており, 広域化に向けて分別の統一を住民に指導できるのか。</u> ・ <u>市内への施設整備については理解するが, 盛岡インターチェンジ付近は渋滞発生の心配がある。</u>

整備候補地	住民等からの要望, 意見, 質問等 (主なもの)	
盛岡市クリーンセンター敷地	覚書の協議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市は、施設更新に当たり計画を立案する際には分散型立地を原則とすること等を定めている「盛岡市クリーンセンターに関する覚書」に反している。広域化の説明の前に、覚書に基づく協議を行うべき。 ・ 町内会として施設整備に反対する陳情書を提出しているため、覚書の協議に応じる必要はない。(建設地の地元町内会) ・ クリーンセンター敷地を候補地から除外してほしい。(覚書に基づく協議の相談依頼に対する上米内地区からの回答) ・ 上米内地区の意向を無視した対応はできない。(松園地区の意見)
盛岡南インターチェンジ付近を除く整備候補地	要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化計画に反対し撤回を求め、ごみ処理施設候補地選定作業の中止を求める。 (H31年3月。3候補地の関係団体(3団体)の連名による要請書) (R1年6月, R2年2月の計3回。3候補地の関係団体(4団体)の連名による要請書) ・ <u>冊子版の配布に抗議する。盛岡インターチェンジ付近を候補地から除外し、県央ブロックのごみ処理広域化計画を撤回して処理施設の分散立地と各市町での自区内処理を行うべきである。</u> (R2年12月。3候補地の関係団体(4団体)の連名による要請書) ・ <u>3月24日に開催される県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会では、候補地の決定をしないよう要請する。</u> (R3年3月。3候補地の関係団体(4団体)の連名による要請書)

県央ブロックごみ処理施設整備予定地の選定に係る概算事業費（整備候補地別）

1 イニシャルコスト

項目	試算条件等	盛岡インターチェンジ付近	都南工業団地付近	盛岡南インターチェンジ付近	盛岡市クリーンセンター敷地
土地取得費	取得面積：5ha 取得単価：公共取得事例	・5ha×@2,200円/㎡= 110,000千円 ※取得事例 H29年3月 (計) 110,000千円	・5ha×@1,300円/㎡= 65,000千円 ※取得事例 H21年7月 (計) 65,000千円	・5ha×@7,000円/㎡= 350,000千円 ※取得事例 H29年12月 (計) 350,000千円	(取得不要) (計) 0千円
インフラ整備費	共通関連工事費・水道電気負担金：盛岡市実績 特別高圧工事負担金（受電分のみ）：事業者見積 ※ 契約電力は2,000kwと仮定（特別高圧） 最寄り送電線までの直線距離より算定	・共通関連工事費 238,000千円 ・水道電気負担金 30,000千円 ・特別高圧工事負担金 0千円 (計) 268,000千円	・共通関連工事費 238,000千円 ・水道電気負担金 30,000千円 ・特別高圧工事負担金 6,480千円 ・取付道路整備費 130,000千円 (計) 404,480千円	・共通関連工事費 238,000千円 ・水道電気負担金 30,000千円 ・特別高圧工事負担金 0千円 (計) 268,000千円	・共通関連工事費 0千円 ・水道電気負担金 0千円 ・特別高圧工事負担金 3,024千円 (計) 3,024千円
造成費	造成面積：5ha 単価：国税庁財産評価基準（岩手県 平成30年分） ① 整地費 700円/㎡, ② 伐採費 1,000円/㎡ ③ 改良費 1,800円/㎡, ④ 土盛費 6,700円/㎡ ⑤ 土止費 65,200円/㎡ ※ 傾斜が10度超15度以下の場合、33,700円/㎡ （①④⑤を含めた単価、②③は別算定） 傾斜が3度以下の場合、①～⑤の組合せ	《傾斜0.8度》 ・整地費 35,000千円 ・伐採・抜根費 50,000千円 (計) 85,000千円	《傾斜12.5度》 ・傾斜地造成費 1,685,000千円 ・伐採・抜根費 50,000千円 (計) 1,735,000千円	《傾斜0.2度》 ・整地費 35,000千円 ・改良費 90,000千円 ・土盛費 335,000千円 (計) 460,000千円	(整備済) (計) 0千円
焼却施設整備費	施設規模：500t/日 単価：@50,000千円/t（全国事例単価 環境省公表） （交付金）整備費分 交付率（想定）：4/10 施工監理分 交付率：1/3	・整備費 500t×@50,000千円/t = 25,000,000千円 ① … うち交付金の交付対象事業：80% ・施工監理費 240,000千円 ② (計) 25,240,000千円 ※交付金充当額 8,080,000千円（①×80%×4/10 + ②×1/3）			
収集運搬中継施設整備費	各市町の市役所及び町役場から各整備候補地までの距離が25km以上の場合に設置 建設費：全国実績（岩手県基礎調査報告書） （交付金）交付率：1/3	・八幡平市清掃センター 613,000千円 ・岩手・玉山清掃事業所 435,000千円 (計) 1,048,000千円 ※交付金充当額 349,300千円			・八幡平市清掃センター 613,000千円 ・岩手・玉山清掃事業所 435,000千円 ・盛岡・紫波環境組合 811,000千円 (計) 1,859,000千円 ※交付金充当額 619,600千円
既存施設解体工事費	中継施設設置に伴う既存焼却施設の解体工事費 解体費：全国実績（基本構想） （交付金）交付率：1/3	・八幡平市清掃センター 140,000千円 ・岩手・玉山清掃事業所 100,000千円 (計) 240,000千円 ※交付金充当額 80,000千円			・八幡平市清掃センター 140,000千円 ・岩手・玉山清掃事業所 100,000千円 ・盛岡・紫波環境組合 280,000千円 (計) 520,000千円 ※交付金充当額 173,000千円
施設整備に係る計画支援費	焼却施設整備関係（H30年度試算） （交付金）交付率：1/3	① 基本計画の策定 20,000千円, ② PFI等導入調査 10,000千円, ③ 測量・地質調査 50,000千円, ④ 生活環境影響調査 200,000千円, ⑤ 基本設計 50,000千円, ⑥ 発注支援 70,000千円 (計) 400,000千円 ※交付金充当額 133,300千円			左の①②④⑤⑥の項目及び金額 (計) 350,000千円 ※交付金充当額 116,600千円
	中継施設整備関係（H30年度試算） （交付金）交付率：1/3	① 生活環境影響調査 10,000千円, ② 基本設計 2,700千円, ③ 発注支援 3,300千円 (計) 16,000千円 ※交付金充当額 5,300千円			左の項目及び3/2の金額 (計) 24,000千円 ※交付金充当額 8,000千円
合計		(合計) 27,407,000千円 ※交付金充当額 8,647,900千円 ※交付金を除いた額 18,759,100千円	(合計) 29,148,480千円 ※交付金充当額 8,647,900千円 ※交付金を除いた額 20,500,580千円	(合計) 28,022,000千円 ※交付金充当額 8,647,900千円 ※交付金を除いた額 19,374,100千円	(合計) 27,996,024千円 ※交付金充当額 8,997,200千円 ※交付金を除いた額 18,998,824千円

備考 1 「交付金」は、循環型社会形成推進交付金（環境省所管）
2 「エネルギー利用施設の整備費用」は試算に含めていない。

2 ランニングコスト ※ 新たなごみ処理施設の稼働後15年間のランニングコスト

項目	試算条件等	盛岡インターチェンジ付近	都南工業団地付近	盛岡南インターチェンジ付近	盛岡市クリーンセンター敷地
収集運搬経費	① 各市町から処理施設又は中継施設までの収集運搬経費(家庭ごみ) ② 中継施設から処理施設までの運搬経費(家庭ごみ及び事業系ごみ)	① 13,567,189千円(8市町分) ② 647,595千円(3市町分) (計) 14,214,784千円	① 15,309,057千円(8市町分) ② 666,887千円(3市町分) (計) 15,975,944千円	① 14,698,821千円(8市町分) ② 667,186千円(3市町分) (計) 15,366,007千円	① 15,698,011千円(8市町分) ② 1,268,345千円(5市町分) (計) 16,966,356千円
中継施設の運営 ・維持管理費	基本構想に基づく算定 ・維持管理費 建設費×15% ・人件費 6,000千円/人/年 ・運営人数 基本人数2人+処理量50tごとに1人増加(0.02人/t)		・八幡平市清掃センター 1,352,000千円 ・岩手・玉山清掃事業所 1,001,000千円 (計) 2,353,000千円		・八幡平市清掃センター 1,352,000千円 ・岩手・玉山清掃事業所 1,001,000千円 ・盛岡・紫波環境組合 1,820,000千円 (計) 4,173,000千円
焼却施設の運営 ・維持管理費	基本構想に基づく算定 ・運営費 盛岡市クリーンセンターを参考にし て積算(人件費等) ・維持補修費 整備費に経過年数ごとの補修費率を 乗じて積算			・運営費 10,095,000千円 ・維持補修費 11,374,000千円 (計) 21,469,000千円	
焼却残灰の処理 ・処分費	・主灰 資源化(セメント資源化)委託料 運搬 11,000円/t 資源化 25,000円/t ・飛灰 埋立処分 運搬 11,000円/t 埋立 21,000円/t			・主灰のセメント資源化 5,447,988千円 ・飛灰の埋立処分 2,122,112千円 (計) 7,570,100千円	
合計		(合計) 45,606,884千円	(合計) 47,368,044千円	(合計) 46,758,107千円	(合計) 50,178,456千円

3 トータルコスト (= 1+2)

項目	盛岡インターチェンジ付近	都南工業団地付近	盛岡南インターチェンジ付近	盛岡市クリーンセンター敷地
イニシャルコスト	(合計) 27,407,000千円 ※交付金充当額 8,647,900千円 ※交付金を除いた額 18,759,100千円	(合計) 29,148,480千円 ※交付金充当額 8,647,900千円 ※交付金を除いた額 20,500,580千円	(合計) 28,022,000千円 ※交付金充当額 8,647,900千円 ※交付金を除いた額 19,374,100千円	(合計) 27,996,024千円 ※交付金充当額 8,997,200千円 ※交付金を除いた額 18,998,824千円
ランニングコスト	(合計) 45,606,884千円	(合計) 47,368,044千円	(合計) 46,758,107千円	(合計) 50,178,456千円
合計	(合計) 73,013,884千円 ※交付金充当額 8,647,900千円 ※交付金を除いた額 64,365,984千円	(合計) 76,516,524千円 ※交付金充当額 8,647,900千円 ※交付金を除いた額 67,868,624千円	(合計) 74,780,107千円 ※交付金充当額 8,647,900千円 ※交付金を除いた額 66,132,207千円	(合計) 78,174,480千円 ※交付金充当額 8,997,200千円 ※交付金を除いた額 69,177,280千円

備考 「交付金」は、循環型社会形成推進交付金(環境省所管)